

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	175000843		
法人名	株式会社 ふれやか		
事業所名	グループホームふれやか 癒楽		
所在地	北見市春光町1丁目31-1 (電話・FAX) 0157-61-5666		
自己評価作成日	2016年9月	評価結果市町村受理日	平成28年11月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL saku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigvosvoCd=0175000843-00&PrefCd=

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市とん田東町453-3
訪問調査日	平成28年10月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様に季節を感じて頂ける様、リビング壁には季節に合わせたディスプレイを行い、日常の写真、行事毎の写真等掲示しています。年間の行事も節分から始まりひなまつり、桜餅作り、回転寿司くるくへ外食、にっころへパン作り体験、ふれやか祭り参加、親睦会(年2回) 長寿を祝い会、十五夜飾り、ひばり合唱団参加、お正月まゆ玉作りを行い、お誕生会の手作りケーキ、皆さん楽しみにされています。今年1月には開設以来初めてインフルエンザに罹患された方2名居りましたが、通年通して手洗い、うがいの励行し来館される皆様に協力頂き感染予防に努めています。又食事前の嚥下訓練、食後の口腔、舌ケアを行い誤嚥性肺炎の予防をしています。スタッフは20代、30代、40代、60代と幅広く、入居者さんとなじみの関係が築けていると思われます。

事業所の周辺はドラッグストアなどの商業施設や散歩に便利な生活しやすい環境で、天気の良い日は公園などの散歩や近隣のくるく寿司などに職員と一緒に外食を楽しんだりしています。利用者が日々の生活が前向きになるよう、体操やゲーム、塗り絵などを個々が楽しく過ごせるように支援しています。また、利用者一人ひとりの状況に合わせて役割を持った生活の支援がされており、日々の食事の支度の皮むき・配膳等を行ったり、おやつやパン作りなどしています。特に、職員一人ひとりが利用者の日々の健康面を把握し、主治医や往診時に変化を伝え、改善点を常に話し合い、日々声掛けを行い利用者の残存能力を高めることに努めています。また、食事を楽しく、健康で食事ができるように口腔ケアに積極的に取り組み、食事時の口腔体操などで誤飲防止に努めており、食事の際には一緒に同じものを食し、常に味付けや利用者の食事の状況を把握しています。高校生のボランティアや中学生の社会体験学習の受け入れなど、隣接学校との相互交流が行われており利用者の楽しみとなっています。ご家族のアンケートでも、「スタッフの皆さんの献身的な看護・介護に家族として大変感謝しています」、「本人の様子を、その都度報告していただき、感謝しています」などのコメントが寄せられ、ご家族が職員の対応に安心感を持たれていることが伺えます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

I. 理念に基づく運営

1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者、職員は療養理念を共有し入居者さんとゆっくり共に歩む様努めています	職員会議の中で、利用者の日々の状況について話し合われ、楽しくゆったりとその人らしく過ごせるような支援に努めています。スタッフは、利用者に毎日声掛けをし、利用者一人ひとりの身に置き換えたサービスに心がけています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会、地域との繋がりを大事にホームでの会議、行事に参加頂いたり、町内会のレクレーションに入居者さん、スタッフと参加したり、回覧板にて情報知り緊急時には連絡網の活用して協力依頼しています	地域の商店の活用や町内会との行事参加等の交流は、認知症GHとしての理解を深めています。また、近隣の高校生や中学生のボランティアとの交流は利用者の楽しみとなっています。敬老会には、「北見ひよっとこの会」が慰問に訪れ、利用者に喜ばれています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年は市民成年後見人研修、小泉中学校1年生の研修受け入れを行い認知症の人への理解や支援の仕方、日常生活など見て頂いています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的に2ヶ月に1回開催しています。活動報告、事故報告、ヒヤリハット等報告ご皆さんからの意見を反映し、サービスの向上に努めています。遠方のご家族様には議事録を送付させて頂き、何時でも閲覧できるよう玄関ホールに定時しています	開かれた事業所を目指し、多くの家族の参加を得て、活発な意見を交わしています。運営推進会議は、時には事業所の行事を取り入れ参加していただき、GHの理解を深める機会を設けています。参加者より出された意見等については随時改善に努め、サービス向上を図っており、現在避難する際の非常口を改善するよう検討しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護福祉課担当者より空床状況、研修案内、豪雨の際の安全確認、運営推進会議に出席頂いています。必須事項に関しては随時メールが届いています	行政とは、運営推進会議の出席を得て、助言を通し良好な協力関係が構築されています。また、日常的には空床状況、研修のお知らせ等の情報をメールにて共有・連携しながら、介護サービスの充実を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないケアを心がけ実践しています。玄関施錠は夜間のみとし、日中はセンサーと見守りで安全確認に努めています	言葉の暴力を含め利用者に指示的な対応をしてしまった職員には個別指導しており、常に敬意をもって接するように指導しています。利用者が外に出たがる場合は、制止せずに希望に付き添い散歩やドライブを行い、気分が晴れるように支援しています。職員会議を通じて身体拘束の内容と弊害を共有し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会等に参加し身体的、心理的、言葉の虐待を行わないケアを日常的に実践しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護生活支援員さん利用している方2名、成年後見人利用している方1名居ります。市民後見人さんは月1回の面会頂く等活用できるよう支援しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、重要事項等の説明を充分に行い、理解、納得頂いております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的、運営推進会議に意見、苦情があった際はスタッフミーティングで話し合い、解決策を打ち出しご家族様へ報告しています。意見箱も有りますが、殆ど活用されておりません	焼肉親睦会では家族同士や家族と職員との交流を図る目的で行っています。利用者とは日頃のかかわりの中で、家族には来訪時に積極的に声をかけ、意見や要望を、職員と共有して、希望に沿うように支援を行っています。事業所独自では隔年で1回家族アンケートを行っています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフの意見、提案は日常的に聞き入れ、内容によっては、全体ミーティング、施設長に挙げるなどして結果スタッフへ報告しています	会議や日頃からの職員の意見には耳を傾けており、管理者による職員面談で、年2回の能力評価を行い、個人の努力や目標達成しやすいようにアドバイスをしています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の能力評価を行い個々の努力や勤務状況に応じて時給UPに繋げやりがいを持って働ける環境作りの努めています。又シフトに関してはスタッフ個々の身体状況等考慮し、休み希望の受け入れもして作成している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修に参加促し、終了後は報告書提出して貰い、送り講習を行い互いに知識の向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会やひばり合唱団での交流する機会があり、活躍を通じて相互意見交換する等、知り得た情報をホームに持ち帰り、サービスの向上に努めています		

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています	入居前面会時に知り得た情報をスタッフに提示し、入居後の状態も細かく申し送りに繋げ、安心してここで生活出来る様関係作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前ご家族様からの要望、困っている事等充分に情報頂き、入居後は面会時、モニタリングの際、日常の様子、身体的、精神的な面をお伝えし相談しながらよい関係作りに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族から必要としている支援を見極めサービスの提供をしています。訪問理容、訪問看護、クリーニング委託等又支払い代行、買物代行の支援も希望の方に行っています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事、出来ない事を見極め、出来るだけ色々な事に参加して頂き、ともに生活をする者同士の関係を築いています		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	何時でも気軽に面会に来て頂ける様、又自室でゆっくりと過ごして頂ける様飲み物の提供し、ご家族様との外出、ホームでの行事毎に参加して頂くなど支援しています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの理美容室、お墓参り、遠方の弟さん宅へ出掛けたり、遠方から息子さん家族の訪問等関係が途切れない様支援しています	家族の協力のもと利用者の希望する外出や墓参り、外泊、馴染みの人や場との関係が途切れないよう行っています。また、利用者のひばり合唱団の発表会の参加が継続されるように支援しています。日常的な習慣の新聞購読支援や体操、漢字の書き取り、ゲーム等の趣味の利用者には、毎日希望を聞いて行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常リビングにて過ごされる方が多くスタッフも一緒にラジオ体操、レクリエーション、歩行練習等、一人で居られる方にも声かけ参加促してする様に心がけている、食事の際エプロンをしてあげる光景も見られて居ます		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族様からの連絡もたまに有り近況伺いや必要に応じて相談、支援を行う様心がけています		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り自己決定して頂ける様、又本人の希望に添えるよう努めています	言葉にしづらいことなど、日々の生活の会話の中で言葉や表情から思いを汲み取り、利用者のしたいことや希望に沿うように支援しています。行動で思いを伝えようとする利用者もいるため、日頃の状態を観察し、そのサインを見逃さないように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の好む事、嫌いな事等生活歴を基に把握し本人の思いを大切にスタッフ共有しサービスに努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	睡眠状態、食事量、本人の表情、等一人一人の状況を把握しながら穏やかな1日を過ごして頂ける様声かけ支援しています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケアカンファレンスを行い、3か月毎モニタリングし、本人、ご家族様の意向を最大限取り入れたケアプランを作成し、実践する様努めています	職員会議でケアカンファレンスを行い、場合によっては家族と話し合われています。利用者や家族から思いや意向を聴きとり、医師・看護師の指示を含め、職員で意見交換を行ない、残存機能を維持し穏やかに生活ができるよう、現状に即した介護計画が作成されています。また、見直しについても、その都度行なわれています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づき毎日のケアの実践や変化の有る事等、SOAP式を使い個別の生活記録に記載し、申し送りにて情報共有をしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様居られない方、遠方の方に関して受診対応、支払い代行、買物支援等行い柔軟な支援を行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣への買物、外食、ボランティアの活用、研修生の受け入れ、にっころへパン作り体験等継続し楽しむ暮らしを支援しています			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回内科訪問診療を受けている方4名、訪問歯科(8名)定期健診を受けている、著変生じた際はご家族様に相談の上、介護添書持参の上受診している、緊急時は管理者が受診対応しています	利用者、家族の希望するかかりつけ医への受診や内科医、歯科医の定期的な往診、訪問看護より適切な医療を受けられるよう支援し、連携を図り健康管理に努めています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的な気づきや情報は管理者へ報告、相談し、保健師が定期的に健康管理を行い情報共有している又訪問看護来館時はその方の状況をお伝え相談しています			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院治療必要になられた際は、常に本人の状態を知る為面会を頻回に行い、主治医から状態説明受けご家族様と相談し早期退院が出来る様支援しています			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、看取りに関しての指針は整備している為、契約時に説明し対象と成る入居者は常に主治医、ご家族様の意向、保健師と相談するなど支援しています。現在まで2名看取り行っています	重度化した場合や終末期の看取りについての指針があり契約時に説明し理解を得ています。利用者や家族の意向、状態を確認しながら協力医療機関と連携を図り想いに沿った支援に取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応AEDの使用方法はスタッフH27年9月スタッフ全員講習を受け習得しているが、実際に使用した事は今の所無く、入居者急変時は管理者へすぐ連絡入れる様にしている			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災避難訓練は年2回入居者さんの協力頂き行っています。その内の1回は所轄職員立会の元助言、指導を受けています。夜勤帯スタッフ1人の為避難誘導をシミュレーション行うなどしています	消防署の立会いのもと夜間想定で5月と10月に避難訓練を実施しています。月1回の自主検査により避難通路や消防用設備、火気設備器具などの点検を行い予防対策も行っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の状況を察し、気分を損ねない様な声かけ、笑顔で対応しています	利用者に対して自分が嫌がることはしない、威圧的、上から目線にならない声掛けに努めています。個人情報も適切に管理が行われています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆったりと入居者さんの答えを待つて自己決定出来るよう働きかけています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のその日の状態により戸外散歩に出かけたり、ゲームをしたり声かけ出来るだけ希望に沿って過ごして頂ける様支援しています。スタッフの都合にならない様配慮しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服選びは本人の希望を聞き、毎日では下着交換をするよう声かけ支援しています 食後は必ず口紅を引いて来られる方も自身でおしゃれを楽しんでいる様です		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の力に合わせて盛り付け、配膳、食器拭き等参加頂き、毎週土曜日の夕食は入居者の好みの献立とスタッフと一緒に野菜を切ったり、盛り付けしたり出来る事を継続しています	食事は配食となっていますが、毎週土曜日には利用者の希望を聞き、菜園の野菜を使い料理しています。外食やパン作り、誕生日には手作りのケーキ、おやつなどは利用者の楽しみになっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分制限されている方1名以外は1000~1500CC 目途に水分提供しているが、拒否される方は本人の好む飲み物を提供、食事もその方に合わせて食事形態を変えて提供するなどの支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは出来るだけ自力で行って頂き、口腔状態に応じて一部介助させて頂く、舌苔のある方はモアブラシ、舌ブラシを用いて介助し清潔に保つ工夫を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本に個々の排泄パターンを把握し失敗多い方は都度声かけ、見守りを行い、後始末不十分方には介助させて頂くなど行い、不潔行為に繋がらないケアを行っている	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、不安にならないよう誘導しトイレで排泄できるよう支援しています。布パンツの利用者には清潔保持のための確認をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分チェックを行い個々に応じて、起床時の冷水、牛乳等提供し、動ける方は軽運動、歩いて頂くなど腹部マッサージを施す事も有り便秘予防に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	気持ちよく入浴して頂ける様、本人の希望に沿った入浴介助に心がけ、入浴拒否される方には、他のスタッフが携わる等不穏にならない様な声かけ支援している	利用者の状況やその日の状態を考慮して週2回~3回の入浴を支援しています。入浴剤を使用したり拒否の利用者にはタイミングをみて声掛けを行っています。入浴後は好みの保湿クリームを使用する方もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠が出来る様一人一人の部屋、ベッドが気持ちよく過ごせるよう、ベッドメイク、整理整頓を忘れずに支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬セットした際、服薬時等Wチェックをし必ず声を出し錠数の確認も忘れず行い指示通り服薬で来るよう支援している、又中止、追加等有る場合は症状の確認も行い、申し送りに繋げている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割としてテーブル拭き、箸並べ、食器拭き、タオルたたみ、お茶パック詰め等出来る方にお願ひし、オセロ、漢字書き取り、計算、塗り絵の得意な方等気分転換出来るよう支援しています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的にお天気の穏やかな日は、戸外散歩に出掛け気分転換をして頂き、Faの希望にて遠方の兄弟に会いに行く等支援している、3名の方理美容室も希望の場所へ行かれるなど外出支援しています	近所に散歩や買い物に出かけたり、町内会の行事、お花見、外食など少しでも外に出る機会を設けています。利用者の希望に添って個別支援を行っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一緒に買物へ行くも支払いには消極的の為金額を伝えて支払い代行する事が多く、お金を日常的に所持する事は殆ど出来ていない		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取り次ぎ、希望時はご家族に電話を繋げたり都度支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は、温度、湿度、臭い等不快を生じないよう常に配慮し、冬季間は濡れバスタオル、霧吹きなどで湿度を保ち、リビングには季節毎の花、飾り、入居者さんの作品、行事毎の写真等掲示しています	明るく暖かい日差しが差し込むリビングには、利用者と職員の手作りの飾りや行事の写真が貼られ楽しい雰囲気作りがされています。季節ごとの飾りや温度、湿度にも気が配られ居心地良く過ごせるよう配慮しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて過ごされる方が殆どで思い思いの場所でゆっくりとくつろいで頂ける様支援しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物を持参して頂き、その時の状況によりFaと相談して模様替え行う等動きやすい配置にしています、写真や好みの物を置いて気持ちよく過ごして頂ける様支援しています	居室には仏壇やタンスなど馴染みのものや思い出のものが持ち込まれています。利用者が書いたぬり絵などが貼られ本人らしく居心地よく過ごせるように支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行可能な方7名その方に合わせて手すり使用にて移動して頂いたり、バリアフリーの回路型廊下の為自ら毎日歩行訓練されている方も居ります		